

平成30年度  
日本短角種の経営に関する調査報告書  
【要約版】

平成31年2月

**alic** 独立行政法人農畜産業振興機構



## 【要約版】

## 1 子牛生産費

## ①子牛生産費

日本短角種の子牛1頭当たり生産費は、304,631 円で前年度並みとなっている。構成比は、飼料費 15.5%、労働費 33.9%、減価償却費 17.2%、放牧預託費(種付費含む)11.3%、獣医師料及び医薬品費 1.4%、その他 20.7%である(図1、表1)。

また、子牛の生産費は、飼養規模が大きくなるほど減少する傾向がみられた(図2)。

図1 日本短角種の子牛生産費(1頭当たり)

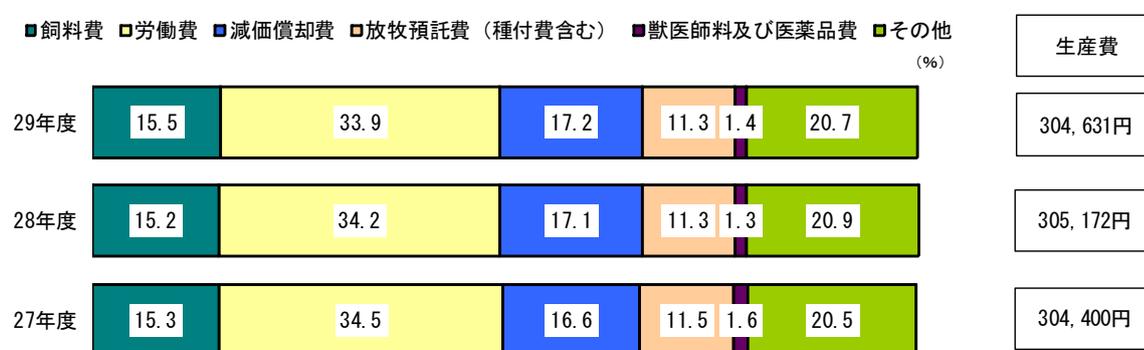


表1 日本短角種の子牛生産費(1頭当たり)

(円)

	経営 体数	生産費	飼料費		労働費	減価償却費		放牧預託 費(種付 費含む)	獣医師料及 び医薬品費	その他		
			購入	自給		繁殖雌牛						
年度別	29年度	26	304,631	47,272	33,737	13,535	103,379	52,264	24,042	34,272	4,247	63,198
	うち、岩手県	23	302,065	46,675	33,600	13,075	101,118	51,952	23,619	34,347	4,287	63,686
	28年度	26	305,172	46,427	32,271	14,156	104,265	52,221	23,785	34,362	4,060	63,838
	うち、岩手県	23	301,387	45,870	32,170	13,700	101,618	51,645	23,435	34,081	4,071	64,101
	27年度	24	304,400	46,544	32,914	13,630	105,028	50,532	24,854	34,889	5,013	62,393
	うち、岩手県	21	299,658	45,409	32,451	12,959	101,668	50,104	24,569	34,776	5,096	62,604
飼養規模別	1~4頭	5	438,407	58,437	44,073	14,364	201,797	90,272	35,487	25,980	4,815	57,106
	5~9頭	10	371,188	50,149	31,050	19,099	167,681	55,303	25,094	34,657	4,758	58,639
	10頭以上	11	283,309	46,074	33,788	12,286	84,365	49,648	23,225	34,615	4,106	64,500

注1: 飼養規模は繁殖雌牛の飼養頭数による。

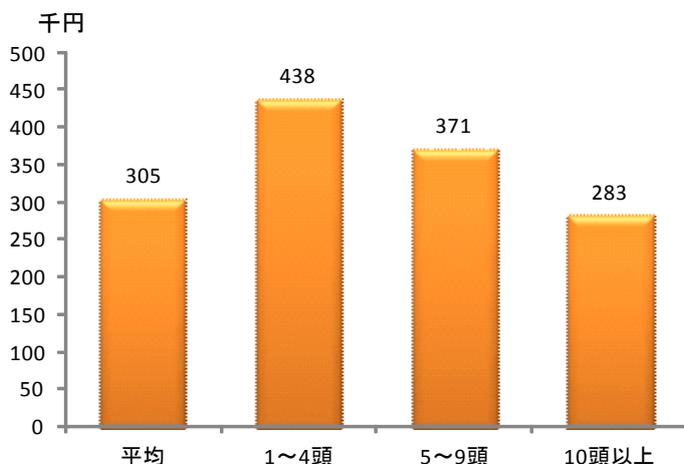
注2: 生産費は、支払利子及び支払地代を含み、副産物価額を差引く。

注3: 飼料費には配合飼料価格安定制度の補填金は含まない。

注4: 経営体数は繁殖経営22戸と一貫経営の繁殖部門4戸の計26戸とした。

注5: その他は敷料費、光熱動力費、その他諸材料費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、小農機具費、生産管理費、修繕費、支払利子、支払地代の合計から副産物価額を差し引いた額。

図2 日本短角種の飼養頭数規模別にみた子牛生産費（1頭当たり）



② 1頭当たり所得

ここでは、平成29年度子牛生産費及び子牛販売価格から1頭当たり所得を算出した。

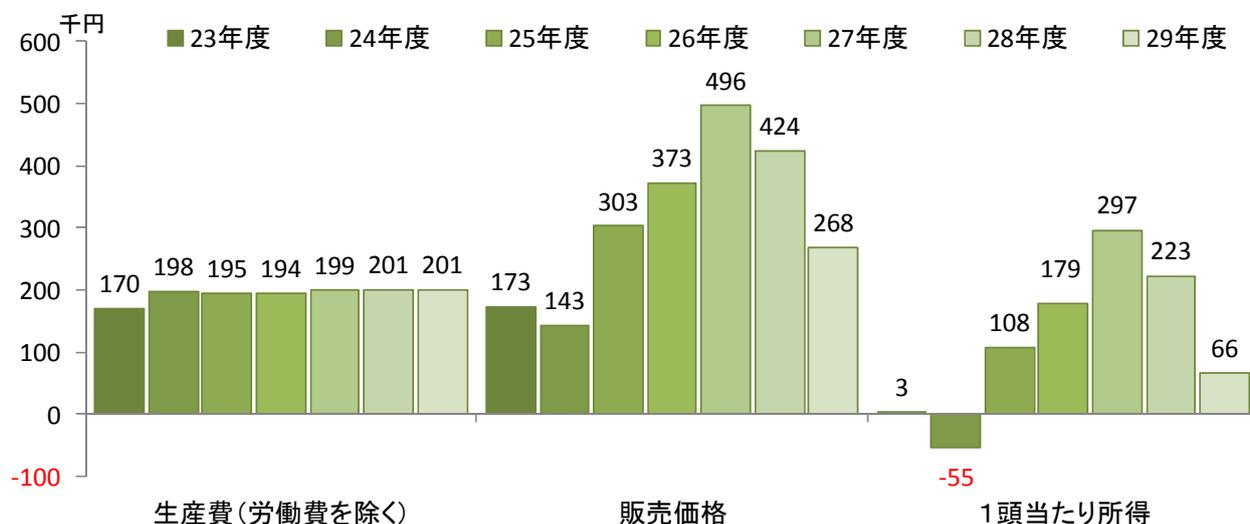
1頭当たり所得は、66,328円（前年度222,922円）と前年度と比べて大幅に減少した。これは、子牛販売価格が前年度から低下したためである。

過去の推移をみると、生産費は概ね横ばいの中で、子牛販売価格の変動が収益性に影響を及ぼしている（図3）。

平成29年度の1頭当たり所得は、66,328円＝267,580円－（304,631円－103,379円）

注：1頭当たり所得は、粗収益（子牛販売価格）－（生産費－労働費）により算出

図3 子牛の生産費、販売価格の推移



## 2 肥育牛生産費

### ① 肥育牛生産費

日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費は、835,071円で対前年度比▲8.5%とかなりの程度減少した。前年度と比べて、特にもと畜費の減少が顕著であった。生産費の内訳は、飼料費28.8%、もと畜費36.0%、労働費13.8%、減価償却費4.9%、その他16.5%である（図4、表2）。

また、肥育の生産費は、飼養頭数規模が大きくなるほど減少する傾向がみられた（図5）。

図4 日本短角種の肥育牛生産費（1頭当たり）

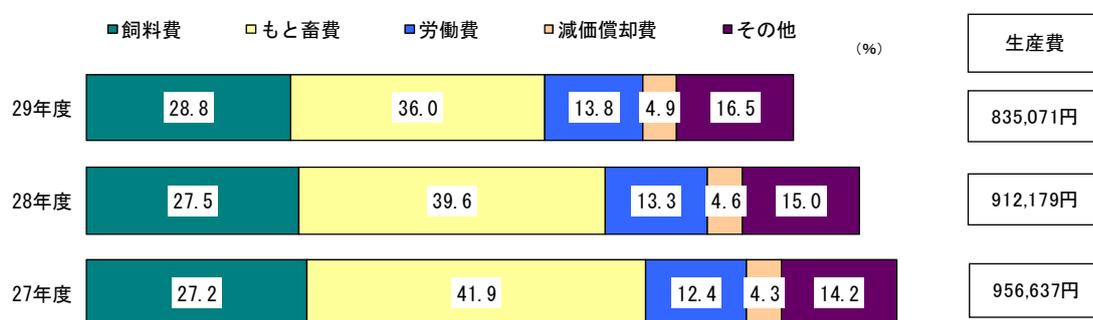


表2 日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費

(円)

	経営体数	生産費	飼料費		もと畜費	労働費	減価償却費	その他		
			購入	自給						
年度別	29年度	23	835,071	240,804	225,358	15,446	300,550	115,037	40,768	137,911
	うち、岩手県	19	843,898	221,058	206,506	14,552	320,322	120,310	43,222	138,986
	28年度	24	912,179	250,859	226,513	24,346	361,345	120,889	42,019	137,067
	うち、岩手県	19	974,640	249,678	220,533	29,146	399,099	130,455	46,223	149,185
	27年度	27	956,637	260,115	236,827	23,288	400,658	119,060	40,966	135,839
	うち、岩手県	21	989,505	246,648	221,115	25,533	432,220	126,230	43,595	140,812
飼養規模別	1～10頭未満	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	10～20頭〃	2	1,032,863	283,000	270,294	12,706	288,847	237,943	26,305	196,767
	20～30頭〃	5	972,750	273,902	232,764	41,139	217,026	208,571	53,829	219,422
	30～50頭〃	5	921,901	266,301	223,878	42,423	271,390	143,888	59,916	180,405
	50～100頭〃	4	880,968	238,636	217,510	21,127	325,627	148,000	34,505	134,199
	100頭以上	6	784,820	231,643	225,419	6,224	309,188	85,939	37,839	120,211

注1：飼養規模は肥育牛の飼養頭数による。

注2：生産費は、支払利子及び支払地代を含み、副産物価額を差引く。

注3：飼料費には配合飼料価格安定制度の補填金は含まない。

注4：その他は敷料費、光熱動力費、その他諸材料費、獣医師及び医薬品費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、小農機具費、生産管理費、修繕費、支払利子、支払地代の合計から副産物価額を差し引いた額。

図5 日本短角種の飼養頭数規模別にみた肥育牛生産費（1頭当たり）



## ② 1頭当たり所得

肥育牛についても、平成29年度肥育生産費及び肥育牛販売価格から1頭当たり所得を算出した。

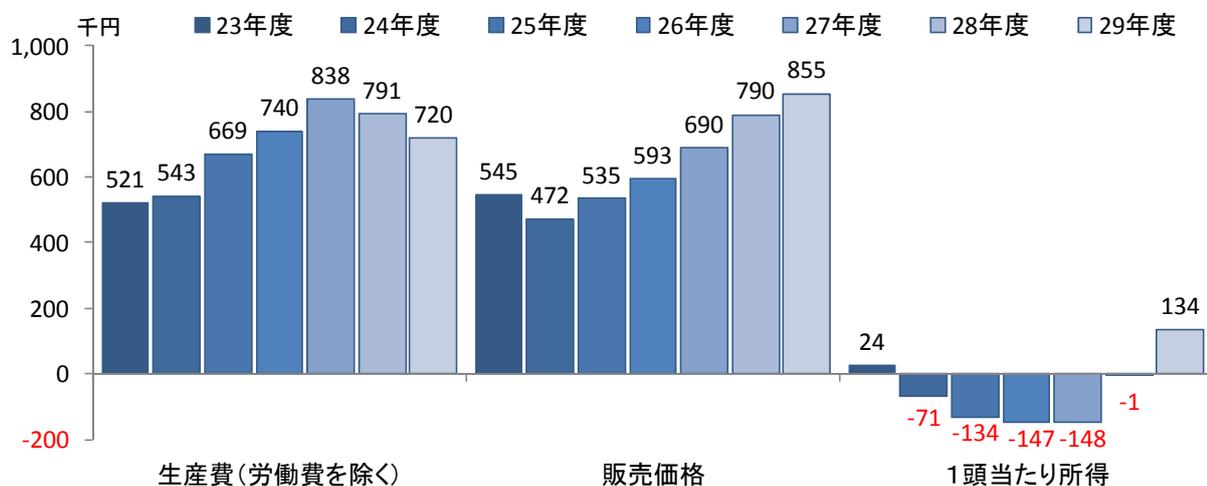
1頭当たり所得は、134,471円（前年度▲1,338円）となっており、前年度のマイナスから大幅に改善した。これは、主にもと畜費の減少が生産費を押し下げ、さらに、販売価格が上昇したことによるものである。

過去の推移をみると、特に24年度以降、1頭当たり所得はマイナスであったが、29年度は子牛価格の下落により、生産費の合計が肥育牛販売価格を下回ったことから収益性は改善している（図6）。

平成29年度の1頭当たりの所得は、 $134,471 = 854,505 \text{円} - (835,071 \text{円} - 115,037 \text{円})$

注：1頭当たり所得は、粗収益（肥育牛販売価格）－（生産費－労働費）により算出

図6 肥育牛の生産費、販売価格の推移





日本短角種の夏山冬里方式による放牧風景